新京日日新聞
夕刊
十二月二十三日
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
發行人 十河榮君 編輯人 和波 印刷人 水越内之介

英米合作の新展開 對日、ソ問題協議か

駐米英大使、ハ外相と會見

【ロンドン廿二日發國通】歸國命令に接したロシアン駐米英大使は廿日リスボン經由空路ロンドンに到着、廿一日午後ハリファックス外相を訪問し長時間にわたり懇談した、同大使今回歸國は何等の特別の使命を有するものでないと言明したが米國の對英援助、三國同盟に對處すべき英米の對日、對ソ共同政策等の具體的諸問題につき米國政府の意向を齎し本國政府と重要協議を遂げるためであることは明かで、殊に對日政策に關しては蘭印問題およびシンガポール共同防備問題につき、相當突込んだ協議が行はれるのではないかと觀測されてゐるが、今後英米合作が如何なる方向に向ふかは注目に値する【寫眞はロシアン駐米英大使（上）とハリファックス英外相】

在支（占領地區）英人引揚

英政府、勸告を發す

【ニューヨーク廿二日發國通】U・P上海電によればイギリス政府當局は廿二日支那の皇軍占領地域内に居住する一般のイギリス人に對し同地域より引揚げるやう勸告を發したといはれる、なほ日本在留イギリス人に對しても既に數ケ月前から可能なるものは引揚を實行するやう同樣の勸告が行はれてゐた

組織化して參戰を防遏 リンディ演説

【ワシントン廿二日發國通】米國空の至寶リンドバーグ大佐は廿二日米國在郷軍人會、外委委員會主催の緊急平和會議に臨み米國が歐洲戰爭に捲込まれることに反對するためには組織をもつてこれに當らねばならぬ旨強調する左の如き參戰反對演説を行つた

米國の渦戰に反對する人々は米國を戰爭に導くが如き宣傳に對抗すべく組織化されねばならぬ、もしわれわれが今にしてこれが組織化を行はねば遲緩に終るであらう、戰爭を防參する手段には種々ある、或人は巨大な國防建設を持み、また他の人々は平和的手段を選ばんとする、しかしいづれにしろわれわれに必要なのは今次歐洲戰に捲込まれぬことであるこれは防遏し得るしまた防遏せねばならぬ、われわれはすべて平和を渇望する、われわれはこれがために共同一致しなければならない

慘澹たる敵性兩國の首都

我が海鷲數次の猛爆に灰燼に歸した重慶市街（上）と獨空軍の猛爆により破裂したロンドン東南部地區のガス管

我等かく鬪へり（四）

ペスト防疫戰線報告記

家庭を戰場に

第二線死守！ 婦人部隊の活躍

闘ひは前線のみに限られたものではない、寧ろその後方を守る第二線部隊の戰時體制の整、不整に依つてその勝敗が決せられるとしたならば、今次國都の防疫戰に於いて敵ペスト驅逐の任務を擔ふべきものは防疫當局者と共に全新京の婦人であるとも言へやう、ペスト發生と同時に〃家庭を守れ！〃のスローガンを揭げて雄々しく起上つた一萬八千の國婦首都分會の會員は各々其家庭を戰場としてともすれば侵入せんとする疫魔ペストの邀撃に健氣な奮鬪を續けて來たのである斯うした内面的な奉陶は第一線に立つ華やかさはないがこの斷乎たる〃家庭死守〃があつたればこそ侵入すべき疫魔をわが國都新京から放逐し得たと言へるのだ、吾々はこの防疫陣の蔭に秘められた之等婦人部隊の偉大なる功績を見逃してはならないのである

家庭死守にのみ止らなかつた、而も國防婦人會の奮鬪は單にその餘力を以て彼女等は進んで防疫陣營にまで參加したのである、遮斷區域内の住民及び警護隊への慰問から更にガーゼ作り、おはぎ餠の接待とその生來の優しい女心は不幸な人達の上に遠く伸びて今次の防疫史を美しい隣人愛の花束で埋め盡したのだ

私達婦人の務めは何と申しましても家庭が一番ではないかと存じます、殊に今回のやうな場合はそのことが痛切に感ぜられます、若し自分の不注意から家庭内にペスト患者を出すやうなことになりましては自分達不幸は兎も角として世間樣に御詫びの申上げやうがございません、國防婦人會もその意味から家庭中心主義でなければならないと思ひます、そんな譯で今度のペスト禍につい〳〵外面的には何一つ出來ませずお恥かしうございます……

國婦首都分會副會長關屋摘子夫人は往訪の記者に斯う語つて寂心から目己の無能を謝すやうに靜かに面を伏せた、何を以て他人に謝すべき必要があらうか謝すべきは寧ろ記者であるこの家庭中心主義があつたればこそ吾々四十五萬市民は黑死病の苦患から救はれ得たのではないか

【寫眞】防疫陣へ配るおはぎ

最高指揮官更迭

南支方面海軍 後任は澤本中將

【東京發國通】南支方面海軍最高指揮官高須四郎中將は今回軍令部出仕に轉補され晴れの歸還をなすことに決定した、後任には海軍大學校長澤本賴雄中將が親補され現地における軍務引繼を完了したので廿三日午前十一時大本營海軍部報道部より左の如く公表された

【大本營海軍報道部公表】＝南支方面海軍最高指揮官たりし海軍中將高須四郎（現軍令部出仕）は明廿四日正午頃大阪商船高砂丸にて門司に歸還、廿六日午前九時十分東京驛著直ちに軍狀奏上のため參内の豫定なり、なほ南支方面海軍最高指揮官の後任は海軍中將澤本賴雄なり【寫眞は高須中將（上）と澤本中將】

不服從運動に英國彈壓開始

【ボンベイ廿一日發國通】個人的不服從運動の最初のサチアグラヒ（眞理の普及者）としてガンヂー翁から指名されたビーバ・ブハブ氏はワルダ近郊各地に於て勇敢に反英反戰演説を開始したが廿一日遂に國防法に基き英官憲のため逮捕投獄された、なほガンヂー翁はかゝる英國の彈壓に屈せず直ちに新たなサチアグラヒを指名するものと期待されてゐる

波蘭外相を逮捕

【ブカレスト廿一日發國通】ポーランド潰滅以來消息を絕つてゐたベック・ポーランド外相はこのほどルマニアからトランシルヴァニアに潛入すべく國境突破を企てゝゐるうちルマニア官憲に逮捕されたことが判明した

獨、ソ聯の對獨通牒説を否定

【ベルリン廿二日發國通】獨軍のルマニア進駐に關しソ聯はドイツ政府に通牒を手交したとの外國新聞の報道は全く捏造であるとドイツ政府當局者は否定してゐる

三角地帯への科學的清掃始る

柏原氏保釋許可

【シンガポール廿一日發國通】去る十九日英官憲のため逮捕されたシンガポール在留邦人柏原氏は廿一日保釋出獄を許された

外務辭令（廿二日）

大使館參事官（ソ聯）七田基玄
同（ブラジル）佐藤庄四郎
總領事（ハンブルグ）川村博
依願免本官（各通）

精動本部解散式

【東京發國通】發展的解消と決定した精動本部では廿三日午前九時理事長室に堀切理事長以下全職員參集解散式を行つた

心を緩めるな！

ペスト殲滅へ 重て市から警告

佛、樞軸側參戰？

ヒ總統リ外相 佛副首相と要談

【ベルリン廿二日發國通】ヒトラー總統は廿二日突如リッペントップ外相とともにヴイシーに赴きラヴアール佛副首相と會見し長時間に亘つて何ごとか重要協議を遂げた

【ニューヨーク廿二日發國通】三國同盟結成を契機として獨伊兩國の戰局對策は愈々新たな外交攻勢を展開せんとする形勢にあるが、廿二日レ・ヴエリエール（スイス）よりの情報によれば獨伊兩國はフランスに對する比較的寬大な和平條件の代償として對英宣戰佈告を慫慂しつゝありといはれ、フランスがいよいよ樞軸側に立つて參戰の可能性あることを示唆してゐる【寫眞は上からヒ總統、リ外相、ラ副首相】

大行山脈殲滅戰

【大原廿二日發國通】共産軍の本據晉東大行山脈中に鐵壁の包圍陣を張つたわが精鋭各部隊は山岳内を右往左往する敗敵を捕捉殲滅しつゝ進撃を續行、刻一刻包圍網を狹縮して今や最後の大殲滅戰に移らんとしてゐる

空家はある

貸家にしない家主の裏街道

季節く嚴寒に近づかんとして、住宅の惱みは益す深酷化せんとす。この時ペスト禍の爲め、あたら建物を一炬に附さねばならなかつた如き、惜みても猶あまりあり▼併しこの殺人的住宅難の時に、あちこちに空家が相當あると言つたら、ウソと思ふかも知らないが、それは本當なのである▼大きなアパートや、立派な長屋が完成して、直ぐにも人が住めるやうになつてゐながら、空しく空家として放置されてゐるのである▼之は持主が可成り高い材料を使つて、建てるには建てたが家賃で貸したのでは公定家賃の關係上引合はぬので、之を高い値で賣拂はうとしつゝあるからである▼即ち空家はあるが貸家はないといふ結果となつてゐる。そこへ持つて來て、今度特殊會社に對する建物收買禁止令が布布された、之は思惑を住宅難の具に供せんとする如き不都合な行爲は、取締らるべきが當然である▼併し裏には裏があつて、收買禁止令必ずしも萬全の取締法とは言へぬ▼即ち此際買はなくとも、將來買取るといふ契約の下に長期貸借の契約をする。そして二年分三年分といふが如き、ベラボウな前家賃を拂ふといふ方法があるのである、特殊會社が往々法規の裏をくゞつて、こんな方法で既設の建物を手に入れんとするが故に、得たり賢しとブローカーは跳梁する▼家主は出來る丈け多額の敷金又は權利金をせしめやうとして、折角建てた家を空家にして、殺到する借家探しには相手にならず、特殊會社方面にのみ借手を物色しつゝあるのである▼名義の如何を問はず敷金をせいぜい三ケ月分以内に制限せよ、次に現在空いてゐる家は、一定の期間内に必ず賃貸せしめよ▼その以後尚空いてゐる場合は、市が強制借上げをして、一般に開放せよ、之は現在住宅難救濟の最も適切なる措置である

補缺衆議當選

【東京發國通】麻生久、斯波貞吉兩氏の逝去に伴ふ東京第五區衆議院議員補缺選擧は廿日開票の結果大橋清太郎（現在市會議員社大系）、廣川弘禪（現府市會議員前政友系）の兩氏が當選した

順調に進捗

日佛印第一回會談

【河内廿二日發國通】わが佛印派遣經濟使節團代表松宮大使は事務總長澁澤書記官を帶同、廿二日午後三時佛印總督府を訪問ドクー總督、クーザン佛印側代表と日本佛印間經濟諸問題に關する第一回會談を行つた

會談は一時間五十分にわたり全般的諸問題に關し極めて友好裡に進捗したが今後の會談は松宮、ドクー、クーザン三氏の間に續行、細目交渉は全般的交渉妥結後行はれる模樣である

小林使節出發

【バタヴイア廿二日發國通】二千六百年祝典參列に中間打合せのため歸國することとなつた蘭印特派使節小林商相は廿二日午後二時バタヴイア出帆日蘭丸で一路歸國の途についた、なほ小林代表の隨軍側隨員として活躍中不幸客死した故石本少將の遺骨も同船で淋しき凱旋をする

防疫基金も募集

けふから各社で受附

國都のペスト禍も軍官民渾然一體となつて防疫戰の徹底により幸ひにして蔓延を喰止め得られ、漸く愁眉をひらくに至つたが、曩に協和會首都本部の發起で在京新聞社がこれを協贊しこの生死をとして眼にみえぬ魔菌と闘ひつゝある防疫戰士に感謝し併せて隔離された人々を慰問する義金募集を開始したところ忽ち翕然として寄る同情に相當額の醵金を得たので協和會首都本部では二十三日午後、各新聞社を代表しての弘報協會員同伴、千早醫院始め隔離區域を訪れ見舞金を贈呈した

尚既報の通り醵金者中には防疫戰士に感謝、隔離市民へ慰問ばかりでなく所謂〃備へあれば憂ひなし〃で此際同時に〃防疫基金〃を貯へては如何にと申出るものもあり二十三日からは、防疫基金も各社で受附けてゐる因に市內吉野町二ノ五科亭東明內宮脇キクエさんから防疫基金として金十五圓の寄託があつた

新京製紙會社々主から二百圓

新京老松町一五の二に事務所をおき、和順區施河街に工場をおく新京製紙會社々主堀ヲワリさんは亡き夫君の遺志をついで立派に事業を繼續し滿洲國文化部門の一翼に參加する女丈夫であるが

今回國都をおそつたペスト禍に身命をなげうつて奮鬪する防疫戰士の勞を多とし些少ながら、それらの戰士に温いものでも……と二十二日所轄和順署に出頭金二百圓を寄託した

東方會全國大會

【東京發國通】東方會では新體制即應の具體的方針を樹立するため廿二日午後一時より日本青年館に臨時全國大會を開き中野會長より東方會としての時局對處方針に關し

一、東方會はその政治性を擧げて大政翼贊運動に統合せんがため從來の組織を解體する
二、從來の政治活動に屬せざる研究調査修養訓練に全力を集中せんがため新たに文化團體としての振東社を創設する

との二大方針を決定せる旨を述べ併せて振東社今後の活動方針を説明總裁に中野正剛氏を、顧問に頭山滿、三宅雪嶺、徳富蘇峰、杉森孝次郎、田中文藏の諸氏を決定した

五十子總務處長東上

開拓總局五十子總務處長は二十三日午後十時二十五分新京發列車で上京東上、開拓事業懇談會に出席の上來月五日歸任の豫定である

選擧法改正案 内務省案説明

【東京發國通】政府は第七十六議會に選擧法改正案を提出する方針でこれが立案に關し大政翼贊會議會局と連絡調整をとるため廿二日午後首相官邸において安井内相はじめ衆議院出身閣僚たる風見、小川、秋田、金光の五閣僚ならびに翼贊會有馬事務總長、前田議會局長の第一回連絡會議を開き先づ安井内相より

一、議員定數の減少一、選擧區の擴大一、立候補の濫立を制限するための推薦制度確立一、選擧運動の取締りの合理化一、選擧公營の徹底

等に重點を置き内務省としての改正大綱を説明意見交換を行つた結果

一、選擧法改正案に關しては今後内務省と議會局との間に緊密な連絡を保つて進歩的改正案を作成すること
一、政府と議會との連絡を緊密ならしめるため毎週翼贊議院出身の閣僚と議會局役員との連絡會議を開催すること

を決定した

吉野滿業副總裁

撫順の滿洲輕金屬理事會に出席のため吉野滿業副總裁は廿五日はとで出發する

人事往來

着京

△若杉三宅氏（開原滿洲豆稈パルプ取締）廿三日第一ホテル
△小池光義氏（大連滿鐵社員）同
△小倉正從氏（奉天滿洲皮革）同
△田北一郎氏（北安新聞記者）同帝都ホテル
△吉澤哲三氏（佳木斯滿洲炭社員）同
△三浦學一氏（通化省公署）同國際ホテル
△大川勝一氏（大連鐵工所）同
△萬歲福松氏（奉天丹己鐵工所）同
△千賀史郎氏（大連預藝商店）同松屋ホテル
△志浦昇吉氏（同）同
△岩倉大術氏（哈爾濱製材業）同二國ホテル

出發

△五十子開拓總局總務處長赴日
△大淵三樹氏 大連へ
△伊藤久秋氏 長崎へ
△西澤光一氏 奉天へ
△小久保茂一氏 哈市へ
△上遠榮次氏 福岡へ
△木腰次夫氏 同

日々々々

獨伊の攻勢が進む、樞軸への佛の參加もいまは必至的であらう
×
戰ひにまた外交に、ヒトラー總統の活躍振りはめざましい
×
英國の如き、今にしてかのアラビアのロレンスが欲しい思ひであらう
×
獨ソ關係に弛みもないらしい、英國の策動も奏效しなかつたと見える
×
瞬く間に悉く落葉してわれらの街は早くも冬の相貌を帶びて來た

讃歌「嗚呼北白川宮殿下」

御遺德偲び奉りて謹作

【東京廿二日發國通】嘆きの御身をもつて御出征中蒙疆において御戰死遊ばされた故陸軍少佐北白川宮永久王殿下の御遺德を偲び奉つて廣く國民が御歌ひ申上げるべき讃歌「嗚呼北白川宮殿下」が廿三日執り行はせらるる五十日祭の御儀に先立ち陸海軍、文部、内務四省の選定歌として廿二日午後陸軍省から發表された、歌詞は御親戚に當る二荒芳德伯の謹作にかゝり故殿下が家に獻上したもので大妃殿下にも殊の外御滿足あらせられたと承る、作曲は「露營の歌」で知られてゐる古關裕而氏で嚴肅哀調の中にも力強い響が籠つてゐる歌詞左の如し

（一）明くる亞細亞の大空を護る銀翼勳ましく大御光を天地に輝かさんと征でまし、嗚呼若き參謀宮殿下

（二）日本男子の意氣高し照低空の射撃すと生命を的の急降下莞爾と笑みて統べませる嗚呼若き參謀宮殿下

（三）竹の園生の御身にて秋空澄める蒙疆に神去りましてとこしへに皇御國を護ります嗚呼若き參謀宮殿下

（四）おもへ神武の大御業扶け奉れる皇子の如といま大東亞興り行く御魂捧げし御いさほしに嗚呼若き參謀宮殿下

聖鍬部隊、大いな成果

明年度計畫への示唆多し

就役日本における一萬五千の青年を動員して聖鍬を揮つた滿洲建設勤勞奉仕隊は來る廿五日新京を通過する八ケ縣特設農場班を殿りに全く完了し、早くも明年度計畫樹立のため日滿兩國關係者間に打合せが行はれてゐるが最近赴日して日本側關係機關と下打合せを行つて歸滿した前川勤勞奉仕科長の明年度計畫の概貌の説明會が廿二日午前十時より開拓總局に於て開催された、同席上に於ては本年度勤勞奉仕隊の成果について大要左の如き報告が行はれ、勤勞奉仕隊計畫が逐年軌道に乘つて成果を收めつゝあることが立證され、明年度における擴充奉仕隊計畫についても多大の期待と示唆が投ぜられた

即ち本年度最も成果をあげたものと見られる實演特設農場について見れば水田を主體とした同農場は山形、長野兩縣農民道場生徒前、後期三三五人が五十町歩の未利用地を開墾、玄米六八〇石（反當一石三斗）の收穫を擧げてをり、之を金額に換算する時は地價約十萬圓（反當二百圓）玄米收入三萬一千二百圓（石當四十八圓）計十三萬餘圓、之に對する支出は建物費二萬八千圓、水田工事費八千圓、[illegible]

高梁等總計一千陌を開墾、夫夫實收を擧げ更に一般開拓班も未利用地が夫々開墾、種付が行はれ相當の實績を收めてゐる此の他道路建設、土壁築造、野草收穫も勤奉隊の手によつて行はれてゐるのみならず本年度計畫中に異彩を放つ開拓地應援作業班約一千八百の入滿があり開拓地建設促進と未利用地の開墾、開拓地の勞力緩和による營農收の増加等を考慮すれば本年度勤奉計畫の實績は昨年度に比しては數段の效果を發揮してゐることは明瞭である、しかし一般開拓地勤勞奉仕隊、特設農場班何れもその開拓事業は二ケ年乃至三ケ年計畫を以て實施されてゐる關係上、第一年度たる本年においては實收穫の數的效果を云々することは早計であり、明年度の成果こそ日滿米穀增產、飼料增產の見地より見て期待すべきものがあるが、本年度右實績は開拓政策の日本への徹底、青少年の勤勞精神訓練の效果の他に明年度以降の勤勞奉仕隊計畫樹立に當つて多大の示唆を與へるものとして頗る注目されるものがある

土肥原中將歸還　現地要職から軍事參議官に榮轉の土肥原賢二中將は二十日午前八時四十分、東京驛着の列車で歸還した【寫眞は東京驛にて】

奉祝大會へ

海外同胞續々集まる

【東京發國通】來る十一月[illegible]日から五日間故國に擧げらる海外同胞の紀元二千六百年奉祝大會も旬日に迫り北米、ハワイ、カナダ、メキシコ、印度、南洋等海外各地から參集したわが同胞は二千名に上り[illegible]丸で何れも在米卅五年以上といふ輝く記録をもつ今浦島部隊卅名が北米から歸來する[illegible]

尺八で更生の道

傷痍勇士希望の渡滿

【東京發國通】傷痍の勇士から雄々しくも滿洲開拓地に尺八の先生として更生近く渡滿することになつた一勇士がある

更生の主は山口縣宇部市三崎出身陸軍歩兵上等兵阪本一氏（三二）で今次の聖戰に出征し山東省濟南の戰鬪で左腕右脇に名譽の負傷を受けて歸還、神奈川縣間の陸軍病院に入院加療中元の自轉車業に携はることの出來ない身となつたので何とかして立派な更生の道をと考へてゐたところ、たまたま尺八の吉田晴風の慰問練習の開始されることを聞き「更生の道はこれだ」と第一番に練習に參加不自由な身を鞭打ちつゝ丸一年たゆまざる努力によつて見事に奧傳の免狀を獲得、十四年二月同病院退院後東京世田ケ谷區北澤の日本大學豫科の守衛として就職後も夜は吉田氏のもとへ尺八の練習に通ふうち滿洲開拓地が娛樂を切望してゐることを聞き身體はもともと大陸に捧げたもの自分の尺八が役に立つたらと進んで滿洲開拓地行を志願し現地開拓義勇隊本部と相談の結果今度鐵驪一面坡訓練所に尺八の先生として赴任することに決定したものである、廿二日同氏を世田ケ谷の日大に訪れると

私の稚拙な尺八で役立つかどうか一寸心細くなりますが吉田先生の力づけもありどれだけやれるか兎に角身を粉にして大いに張り切る決心です

と力強く語つた、尚吉田氏は同君と共に尺八六千管と新編「滿洲開拓青年隊尺八讀本」六千部を持參、十一月初旬から約一ケ月間の豫定で渡滿することゝなつてゐる

東亞の友を電波で結ぶ

十一月から滿華一齊放送

東亞共榮圈内に於けるお互の國民の心の握手を日常生活のなかにしつかりと結び合せようと、ラヂオを通じて滿華親善の役割を果すべく電々放送部では來る十一月一日から滿華一齊放送の[illegible]

夫にかはつて活躍

奉公隊に混る女性

廿二日夜新京驛頭にあつて寒風にさらされながらペスト防疫のため甲斐甲斐しく活躍する卅名の首都協和義勇奉公隊長春區隊員中に珍しや一人の女性が參加、市民の感謝と感激を深めた

この隊制中にないはずの女隊員中野たけ（三八）さんは實は當夜防疫補助員として出動命令をうけた夫君の長春區隊自彊街分隊土木請負業中野利一（三五）氏が仕事の都合上どうしても出動出來ないため懊惱してゐるのを見て私でもよければと健氣にも大役を買つて出て夫のジヤケツに身を固め午後五時から新京驛に驅せ參じ乘降客の注射の有無調査、無マスク監視をなし夜半十二時まで男子隊員に伍して雄々しく立働いたものであるが、中野夫妻は日頃から責任感強く杉田同區自彊街分隊長も口を極めて賞讃して居り婦人が隊員に代つて出動した例はなく婦人に隊員の資格はなくとも隊員の家を最末端の細胞として考へればかうした美談の生れたことは奉公隊活動の滲透化を物語るものであると首都總隊でも賞讃してゐるなほ實談の主たけさんは

夫に代つて女だてらにジヤケツ姿で出たときは恥しいよりは少しこはい氣がしました、しかしこんなことを書かないで下さいと協和女性らしく謙遜して多くを語らなかつた

故青村大佐少將に進級

【東京發國通】去る九月二十五日皇軍佛印進駐に際し名譽の戰死を遂げた青村大佐は同日付をもつて少將に進級、廿二日陸軍省より左の如く發表された

任陸軍少將　陸軍大佐　青村常次郎

協和會法制上の地位

ちかく分科會で審議

現行基本法を整理改廢し滿洲國の特殊性に即應せる獨創的新基本法を制定するための第一回基本法分科會審議會は去る十一日開催され、新基本法制定に對する根本方針を協議したが來る廿四日國務院會議室に於て幹事十餘名集合、基本法分科會幹事會を開催し來週開催豫定の第二回分科會に上程審議をすべき新基本法制定に關する具體的問題を議題として種々協議を行ふこととなつたが同幹事會及び第二回分科會に於て、大體協和會の法制上の地位明確化問題も具體的問題として採り上げらるるのではないかと見られ注目されてゐる

母國に捧げる獻穀淨祓式

けふおごそかに執行

輝く紀元二千六百年を奉讃し[illegible]

娛樂は一切封印

哀悼日加はる自肅

映畫館の鼠[illegible]

ペスト防疫の萬全を[illegible]十一日から休館し[illegible]

科學審議委員會

二十八日總會開催

政府は時局の要請に基き[illegible]

基督教の滿洲的結合

民生部の指導下に進行

滿洲國が國策の一つにとり上げた宗教一元化は着々進捗し[illegible]

それぞれかへら

【十六】

行事を語る

行事もまた藝術品だ

けふの話し手　市公署財務處長　槇田猷太郎氏

今年は臨軍記念日、海軍記念日、或は興亞國民動員大會とか色々な行事があつたし又日本でも十一月には紀元二千六百年の色々な行事がある譯ですが、それについて私は財務處長前約二ケ年ばかり庶務科長をやりましたが、その時の經驗から行事といふことについて一寸お話して見たいと思ひます

□

行事には非常に莊嚴なもの或は士氣を鼓舞するものや、デモンストレーション的なものと種々ありませうが、要はこの行事參加者に對しての深い感銘を與へることが要點と思ふ、行事に參加して何の感激も、何の感想も出て來ないといふことになればその行事は行事として失敗といふべきであらうと思ふ、これがために一つの行事をなすに當つては當事者に取つては勿論なみならぬ苦勞が要する譯は[illegible]

ある佛教信者の見たる 石原莞爾將軍

伊地知則彦 (8)

私は閣下の熱烈な語勢に思はず引つけられて默つてきいてゐた。そして自分の淺薄な議論を恥かしく思つた。私が默つてゐると突然閣下はボツリと一口つぶやくやうに云はれた「私は唯法華經の豫言を信じてゐるのです」此の言葉は私の頭の底にジーンと響いた。閣下はしばらくしてボツリ〳〵と話し出された。

「佛さまの豫言は今まで全部適中して來ました。何一つとして外れた事はありませんでした。しかるに今の世の中は佛樣の豫言の通りに進んでゐるでせうか？ 皆さん反省して見て下さい。民族協和がほんたうに立派に滿洲國の中に出來上るかどうかで佛さまの最後の豫言は、眞實か嘘か？ はつきりして來るのだと思ひます。若し此の滿洲國で立派に民族協和が出來るならば今度も佛さまの豫言が適中するのです。併し今の滿洲國の樣子ではひよつとすると佛さまの豫言が嘘だつた事になりはしませぬか？ 佛樣の豫言が眞實である事を私は信じてゐますだが併し今の世の中の樣子を見ると私は心配でなりません」

此の人から此のやうな言葉をきかうとは私は夢にも思つてゐなかつた。私は全く此の言葉を聞てびつくりしたのであつた。

閣下は最後に「今からの世の中は直感によつてものごとを判斷する時代です。マルクスの如き辯證法的な物事の考へ方、理論による眞理探究はもう古い時代の考へです」といはれた。

そして最後に閉會になる前に一堂の人々に向つて「さつき御本尊に對して皆さんが拜禮してゐられる樣子を見てゐると、どうも眞劍でない樣に見うけられます。先づ第一に正しく坐つて眞直に御本尊の方向をむいて坐つて下さい。斜右を向ひたり左を向ひたりしてゐる人々が多いやうに見うけました。御本尊を拜む時は眞劍に拜んで下さい」と靜かな口調で申された。私は二度大きなショックに打たれた。

そして此の人は本當に信仰をもつてゐる人だと思つた。同じ夜に私と共にその席に集つた人々の中には「石原閣下は、何の話もされず、つまらなかつた」と云つてゐた人達もあつたさうであるが私はさうは思はなかつた。

閣下はあまりお話しにならなかつたけれども僕にとつては以上のきはめて斷片的な言葉が一つ一つ胸を書いた感じであつた。外の人々があの夜あの時あの話をきいて果して私と同樣の感激をうけるか否か？ それは私にはわからない。しかしその夜の數言が私の心の中に拔くべからざる信仰への暗示を與へた事は動かすべからざる天地間の事實であつたのである。

私はその夜からその言葉を何度も〳〵考へて見た。學生時代父にすすめられても御寺の坊さんにすすめられても一向に見むきもせなかつた法華經や日蓮聖人の御遺文をひもどいて見たりしはじめたのもそれからの事である。それは譬へば暗い〳〵大海原の中に長い年月の間波に浮き沈みしてその表面には青い海苔さへまつわりついた一個の浮游水雷が突如としてある、岩礁に觸れて（初めて自己內在の靈感にふれて）轟然爆發した樣なものであつた。

新刊紹介

△モダン滿洲（十一月號）小說・白瀬宏「焚火」山下義行「開墾」笠間雪雄「おさと」・林藏の一生」夢野幸三「鐵門の四天王」金剛・大內隆雄「吳媽」時評、丸山義介「風俗月評」中山義夫「文那之居案內記」織部秀見「王爺廟雜話」牡丹江省特輯記事がある（新京滿明街二〇八、モダン滿洲社、六十錢）

△健康滿洲（滿文版九月號）袁人相「失眠的話」趙樺銘「促進次代國民之健康」知的育兒法」李壽光「居住的衛生」姜獻年「誤骨折」「日本秋風」「關於敗血症」「日本年中行事」文藝等（滿洲結核豫防協會、二角）

△健康滿洲（日文版九月號）新體制下の育兒法の各の下に特輯されてゐる（滿洲結核豫防協會、三十錢）

△滿洲評論（十月十九日號）時評「勞働政策の惱み」・全聯と協和會運動」網治藤夫「商工公會と政治性」笠井光男「滿洲に於ける工・鑛業勞働者の勞働條件」小山貞知「再出發に動ゆるもの」等（大連、滿洲評論社二十錢）

曾國藩と李鴻章（下）

福島一郎

間もなく曾國藩は軍を祁門に進めた。すると李鴻章は「祁門は釜底の如き地形であり、兵家の最も忌む所の所謂絶地である」として熱心に陣地の移轉を說いたが、曾國藩はテンデ取上げなかつた。

又其の頃、嘗て軍令に背き徽州城の守を失ひ、失踪してゐた李元度と云ふ將軍が出頭して來たが、曾國藩は之を叱責して朝廷へ彈劾することにした。處が李鴻章は幕中の數人を語らひ「國家非常の際、共に國家の爲めに働いた人物では無いか」と云つて之に反對し、若し強ひて劾奏されるなら、自分等は其の文案の執筆をお斷りしますと云つたが曾國藩は平然たるもので「君等が書かなければ俺自ら書くよ」てなことでニベなく撥ねつけられた。かうなると驕虎の勢とでも云ふのか、血氣の李鴻章には引込みがつかない「では私も今日限りお暇ま致しませう」と遂に最後まで行つて仕舞つた。此處にも所信に充ち、斷行力に富んだ曾國藩の面目と、覇氣滿々氣概溢るゝ李鴻章の若い姿が躍如として目に浮ぶ。

悄然として幕中を去る李鴻章、淡々として之を見送る曾國藩、斯くて一年餘りは過ぎた。曾國藩は着々と歩武を進め、間もなく安慶の賊を敗つて此地に屯營府を移した。僅かに此の噂を傳へ聞いた李鴻章は流浪の中より祝辭を寄せた。すると曾國藩から「江西あたりでブラ〳〵してゐずに、俺の所に來て働け」と云ふ返事である。斯くて李鴻章は再び曾國藩の幕中に入つたが、曾國藩は以前よりも餘程丁寧に之を待遇して、機密に參畫さする事にした。其の翌年に蘇州方面の有志の士が結束して切りに曾國藩の援助を求めて來た。曾國藩は政府に進言し、李鴻章に淮軍を組織せしめて上海へ派遣した。之で李鴻章も初めて一本立となつたわけである。

一面曾國藩は祕密上奏を爲し極力李鴻章を推擧したが其文中には李の人物を「才大にして心細かに、勁氣內に斂む」と云つてゐる。此の「勁氣內に斂む」と云ふ一句は、曾國藩として絕大なる自信と喜びを以つて書いた文句に相違無い。何となれば有り餘る李鴻章の勁氣を內に斂めしむべく多年心を碎いたのは曾國藩自身であり、彫上げた佛像の出來榮えを最もよく知り最も喜ぶ者は制作者たる佛師であらねばならぬからである。

曾國藩推擧の効あつて李鴻章は上海に着いて一ケ月許りで江蘇巡撫心得を命ぜられ、以來奮鬪よく賊を敗り、間もなく本任の巡撫となり、三四年後には曾國藩と肩を並べるほどの榮進ぶりを示したのである。

曾國藩は清朝中興の偉人と後世までも世に仰がれてゐるだけに、これに似た話はまだ澤山ある。

世の指導者を以つて任ずる人々は常に曾國藩ぐらゐの心得は持つて貰ひ度いものである。徒らに機構組織を誇つても、其の中心となる人を得ざれば精巧なる器に腐肉を盛るが如しである。（以上）

時事解說 ビルマ・ルート再開（上）

ビルマ・ルートの再開問題は同盟に對する英米の極東政策の動向を端的に立證するものとして多大の注目を集めてゐるが既に英當局はこれが再開を決意し郭泰祺駐英支那大使にその旨通告し同時に日米ソ三國にも通告した

ビルマ・ルートの禁絶は雲南・佛印ルート閉鎖に引續いて本年七月十八日から向ふ三ケ月間武器、彈藥、ガソリントラック及び鐵道材料等援蔣物資の輸送停止を協定せるものであり、英國としては我軍の佛印平和進駐、三國同盟成立と國際情勢の決定的な急轉回に從來の政策を一擲し三國同盟に對する英米反擊第一歩として再開を企圖してゐるのである、いふところのビルマルートとは雲南省首都昆明よりビルマの東境ラシオに至る全長七百七十餘哩、支那側六百四十七哩、ビルマ側百二十四哩の貌然たる自動車道路を言ふのである、雲南省では昆明―下關間二百八十一哩は蔣政權が事變前に完成してゐたが下關―ラシオ間はビルマよりする物資輸送を求めるために事變勃發の十二月に起工し苦力五十萬を强制徵發して一年餘の日子を費して完成したものである、從つて新公路は下關より西にして瀾滄江を渡り保山（永昌）を經て更に怒江を渡り龍陵、路西を經て國境を越えビルマ領ムーゼに達する、ムーゼより道路は二つに岐れ一つは西北方イラワヂ河航運の終點バーモに至り他は西南方ビルマ鐵道の終點臘戍ラシオに至る

而して一つはバーモからビルマ交通の動脈イラワヂ河の水運に連なり、一つはラシオからビルマ鐵道に繫いでそれぞれ印度洋の上海ともいふべきラングーンに通ずるのである一方支那側にあつては西南交通の中心昆明からは或は敍昆公路によつて揚子江流域の敍州、重慶、成都など抗戰本據の四川省各地へ、或は滇黔公路によつて貴陽へ貴陽から更に長沙、衡陽、桂林等の前線據點へと放射されてゐる

かくして重慶とラングーンは完全に結ばれ佛印ルートと共に長期抗戰下軍需運輸の大動脈として佛印、ビルマ兩ルートを合せて蔣政權對外輸入の八十パーセントを占めてゐた、然しビルマ・ルートは印度支那半島より連る高原峻嶺を貫く山岳道路であり加ふるに又熱帶的降雨地方であるため每年五月から十月に及ぶ雨期には土砂崩れや橋梁の破壞等で車輛の通行を阻むことも屢々でその輸送量は一日二百噸から三百噸、每月約七千噸に上ると謂はれ佛印ルートの一ケ月二萬噸に比すれば遙かに低位を示してゐた、而してこれ等の輸入物資の多くは米國製品であり自己の輸送ルートを持たない米國品の輸入は當然このルートによらねばならなかつたが重慶親米外交路線の採擇と共にビルマ・ルートの價値は遙かに赤色ルートを凌ぐ重要性を持つに至つたのであるそこで米國政府は英國のビルマ・ルート封鎖に抗議し「世界通商に對する不當なる妨害なり」としてハル國務長官が對日敵意を表明したのであつた英國政府にとつては乾坤一擲の對獨戰を控へた當時の情勢として極東に於て對日融和政策を採らざるを得ず出來得ればこれに關聯して三ケ月の閉鎖期間中に支那事變の終熄を期待するやうなゼスチュアもあつたのである

アルバムの異彩

堂々たる風格。日本の大政治家か大實業家と見て惡いだらうか。それにしても一體誰だらう。見たことのある顏であるが……誰しもがさう感じるこの寫眞。ところがこれは日本の大政治家でも大實業家でもない。非常時局下の大滿洲國を擔ふ張總理その人の、これは珍らしい和服姿である。私達はこの寫眞で、滿洲國人も、これ程まで「日本的」である事をしみ〴〵と感じさせられない譯にはゆかない【讀者へお願ひ＝貴下のアルバムから珍らしい寫眞を本社へお貸し下さい。そして紙面の異彩たらしめて下さい。採用分には薄謝呈】

笠間雪雄「おさと」

「モダン滿洲」十一月號所載。この雜誌にはちよつと珍しいやうな、新味がかつた通俗小說である。が考へてみれば、この雜誌にふさはしいのはこのやうな小說だとも思へて來る。

カフエー勤めをしてゐた女、その後とんかつ屋で働いてゐるといふ女、その女を眞ん中に置いて、その周りに二人ほどの男を配し、色々な角度から眺めたといふ手法で描いてある。しかし、その女にしても男にしてもひどく安手なので、低い市井物語にしか殘つてゐない。後の方で又別な女が出て來るがチグハグである。

ひと頃人間を描くことの必要がしきりに叫ばれたがこの作家などいま一應人間を描くことを勉强することから始めるべきであらう。かなりの才筆だと思ふ。しかしこのやうな對象を扱ふのとにどまつてゐては發展性がないと思へるのである。【銀城衛士】

滿系作家の對立に付て

斯民編輯責任者としての辯

古長敏明

最近滿系作家の對立が特に云々されるやうになつた。私自身滿文雜誌の編輯責任者であるので、この傾向には前から氣づいてゐたが、特に最近甚だしく、日本の或る時代でもみられたやうな、個人攻擊的な泥試合が展開されるに至つてゐる。私がちよつと油斷してゐる間に、私の關する「斯民」誌上にも、相當なスペースをこのために割くに至つた。

私はこれを非常に遺憾に思つて、十二月一日號からは、批評消息一切を抹殺した上、當分の間文藝欄をも一頁に縮少することにした。

滿系作家の對立は、色々な原因によつて起つた現象で、急に責任の所在を問ふことは困難であるが、多少遊戲的な興味が混つてゐることは事實のやうである。我々が神經質に考へる程彼等は氣にしてゐないやうだが、いづれにしてもこんな傾向は同人雜誌によつてやるべきことで、國策雜誌や、新聞を一方的な武器に使用することは以ての外であり私は常に力說するのだが徹底出來なかつたのであつた私の方の雜誌は、思ひ切つた强壓的手段によつて兎に角全體的な編輯新體制に發足したが、他の機關に於ても、一應責任者に於て考慮しなければならないことと思ふ。民族性が異るからと云つて遠慮したり、大目に見たりしてゐる間に、飛んでもない方向につつ走つてしまふ危險が怖ろしいのである。

滿系作家には惡魔的に、批評といふ意味が明劃に徹底して居らず、中傷も、泥かけも一樣に批評であると片附けてゐる傾向があるやうだ。それは滿文誌にも見受けられるところであり、他の反對派の雜誌新聞は勿論さうである。私が自分等の雜誌に揭載された、これらの記事について、揭載責任者に詰問すると「これは批評である。批評を書いて何故惡いか」と反駁するのである。だから私はその批評をも敬遠することに決意せざるを得なかつた。

しかし現在では、全員新しき使命に目覺め、相協力して誌面の更生に乘り出した。一ケ月後に於ける變化を見守つて戴きたい。

なほまた、滿系作家達の無意味な對立についても各々責任ある人々の努力によつて、その原因するところの誤解を一掃し、明朗な滿系文壇の建設を期したいと思ふのである

ちくがき帖

文章をむづかしいと思ふ人はむづかしい文章をかき、文章をやさしいと思ふ人はやさしい文章をかく。これが天下のきまりらしい。

寺田喜治郎

筆者・民生部署官

お正月の門松

植村近平

生活の新體制に順應して來るべき正月には門松を全廢しようとの國防婦人會の御相談に對し、首都本部幹部の方の御意見を拜聽し、一應御尤もと存じられますが私等は多少考へ方を異にしますので茲に一言申述べたいと思ひます。

新體制下に於ける國民の自覺、それは申すまでもなく日滿一體、一德一心、全能力を傾けて興亞の大業完遂に邁進せなければならん。それが爲には日常生活の改善、新形態によつて出來るだけ冗費をはぶき、實生活に必要以外のものは此際大に廢止すべきである。

然し乍ら何もかも無分別に之を廢止すると云ふことは如何かと思ふ。即ち門松などは其の一つで太古以來我が大和民族の行ひ來つた國家的年中行事で正月と門松は宛も鍵と錠との如く離すことの出來ないものであるといつてもよい位である。それを兒戲に類する輪ですまさうなんどと云ふことは無分別も甚だしいと思ふ。松飾こそ淸々しくも溌剌たる新體制下に迎ふる新年の偉大なる表象である。小學兒童の目にも心にも新年と門松は忘れんとして忘れられぬものである。一月元日の拜賀式の歌にも

年のはじめのためしとて、をはりなきよのめでたさを松竹たてて門ごとに、祝ふ今日こそたのしけれ。

と歌つて居るではないか。又第一線の皇軍等にも年每に新年を譲く事は勵に御承知の事と思ふ。吾等大和民族は神ながらなる年中行事を忘れず大祖光の行ひ來た千古の手振を顧みて國家の彰昌、民族の發展の跡を偲び將來の興榮を祈るものである。現下超非常時局にあつても節約すべき道は他にまだ〳〵多々ある。何にもこの由緒をもちこの意義ある門松を廢止する必要はなく少なくとも新年には神國日本の姿を立派に大きく表現したいものである。

今左に門松の起源を記して御參考に供します。

門松の起源を支那であるとする者もあるが日本では支那よりも古く神事には必ず榊を奉る習慣であつた。太古は宮その他御門に專ら榊を用ひわけて正月は神事多く祝ふべき月ゆゑ榊を門戶に立てた例が中古以來松に革つたもので延久、承保の頃には既に一般が松を用ひて居た。後世に至るも、なほ榊を用ゐる地方のあることは上總姉ケ崎の風門戶に榊椎などを立てゝ松を用ひないので知られる。

鳥羽天皇の御代には山陵の外面にも立てられて居たことは「久安百首」待賢門院堀川の歌に

「山賤のそともの松も立ててけり、ちとせといはふ春の迎ひに」

とあることによつても明かである。而してこれに竹を添へることも應永の頃から行はれた

「世諺問答」に

「門の松立てることは昔よりあり來れることなるべし、大かた封戶なるによりて、民戶と申しはべれど昔は一町のうちを五條づつにわりて、門を立てしかば八つの門ありしなりその中に賤が家居つくりはべれば、門なかるべきにあらず、その門の前に松竹を立てはべり、竹はよろづよを限るちぎり、松はちとせを契る草木なれば、年のはじめの祝事に立てはべるべし、幽栖ゆづり葉は澤山にありて鬣翔にもしほれぬものなればしめ繩にかぎりて同じくひき侍るにや」

と見える。これが存立の期間は、一夜松を忌みて前年三十日前に樹て飾り、正月十四日夕まで存立する例であつたが今は七日の朝に取りかたづけて、樹てたる跡に梢を折りたる松枝を挿む風習であるが、それも漸く廢れる傾向にある「東都歲事記」に正月六日、今夕門松を取納む、諸に「承應の頃までは十五日に納めしとなり、古來は十五日に遣竹ありしが、國祭によりて今なし」と見え「嬉遊笑覽」に「寬文二年癸正月六日町觸に松飾り明七日朝取可申事」と見える町ぶれの行はれなかつたため、寬文十年に同樣の達しがあつて、江戶では七日朝になつたが、何時となく町內では六日の夕にかたづける風習を示すに至つた。以上門松存立の間を松の內と稱へ、互に迎年の禮をなす例である。

けふのレコード音樂放送　CY放送

（前八、二五）朝の音樂＝レコード＝【一】ソプラノ獨唱「子守唄」作品四九ノ四（ブラームス作曲）シューマン「ヂリビリビン」（ペスタロッツァ作曲）ポーリ【二】テノール獨唱「アヴエ・マリア」（グノー作曲）ヂーリ「歌劇マノンレスコーより＝麗しき乙女」（プッチーニ作曲）ツイリアーニ【三】管絃樂「喜歌劇蝙蝠序曲作品五六」（J・シュトラウス作曲）パリ音樂院管絃樂團

（後五、三〇）レコード「ベートーヴェン時報」【二】交響曲第三番「英雄」ホ長調作品五五（前半）ウインフイルハーモニック管絃樂團（指揮）ワイガルトナー

世紀の英雄（178）

番伸二　作
高田よしを　畫

カイ太の家（四）

直子がききたいのは――憎いとは思ふけれど、大岡一郎のことだつた。

美惠子と此處で、かうして逢つて、話は自然、內地にゐたころの人たちの噂になつてゆくのだが、

直子は、やつぱり今でも、柔かい瞳で控へ目に相手を見るし、美惠子も以前と變らずキラリと相手の心を透す銳い眼をして――全く相反した性格は、今でもそのまゝ變らなかつた。

逢つた夜は、殆ど宮城京平の戰死のことが話題になつた。直子は知らなかつたけれど美惠子が熱心に彼の戰死について語つたのである。

それから、どうしても直子は大岡のことをききたかつたけれど、美惠子が云ひ出してくれる迄待つてゐた。

だが、美惠子は、ききもしないのに牧利英のことばかり喋つてゐる。

彼が、如何に氣の弱い、本當は可哀さうな男だと云ふことを。

最初は、直子の姉の、京川鑛子のひもであつた牧が、ふと、あの「皇軍行進」といふレヴュウの稽古の日、美惠子を鑛子と間違へて踊つてから

運命なんて小娘の考へてゐる程、怖ろしい嚴肅なものでもないかはり、無論甘いものではない。

牧と一緒になつてからの美惠子は幸福であつたらうか。

やつぱり、當座は、甘い愉しい夢がつゞいたけれど、チヨコレート色の、甘さは甘いが、じゆツと沁みるやうな苦しさがあつた。

『惡黨振つたつて、あの人は結局、自分の脆さを自分でもて餘してるやうな人なのよ。自分が、どんなに詰らない小ッぽけな人間かッてことを一番自分がよく知つてるのよ』

美惠子は牧のことを、さう云ひ、違い同情を寄せてはゐるが、しかし、今では嚴しい客觀的な眼で、あく迄冷靜に牧を語つてゐるのであつた。

『あたしが、あの人と別れたのは、二人のために、それが一番本當の途だと思つたのよ あたしは、牧を本當には愛してゐなかつたんだわ。云はば何んて云ふんでせう――あゝ云ふ場合の雰圍氣が迫り出していたづらね』

美惠子は直子が、きいてゐやうがゐまいが構はずに、ただ自分の喋つてゐる言葉に憫りしてゐるやうだつた。

『牧は、決して惡者ぢやアないわ。しかし、あの人が女を愛すると云ふのも、決して本當の愛情ぢやアないの。勿論みんなが云ふやうな、色魔とか色惡とか、そんなんでもないの、一人の女を好きになる時は、本當に好きになるけれど暫らくたつて……さあ何て云つたらいゝかしら、あたしにはうまく云へないけれど…自分で自分の小さな狡さや女を征服すると云ふ感情のせせこましい計算に、ひどい自己嫌惡がはじまるのね。だから、あの人には、本當の戀愛なんか出來ないのよ。二人は當然のやうに別れたわ』

故北白川宮殿下御五十日祭
嚴かに執行

【東京發國通】蒙疆の將野に名譽の御戰死を遂げさせられた故陸軍少佐北白川宮永久王殿下の御五十日祭に當る廿三日高輪南町の御殿では午後一時から御母宮、妃宮、女王殿下を始め奉り御在京の各皇族方にも御參列御縁故者等着床して嚴かな權舍五十日祭の儀を行はせられ、勅使久松侍從、皇后宮御使岡部事務官、皇太后宮御使清閑寺事務官の拜禮があり、與主審仕の石川別當拜禮、皇族方御拜遊ばされて權舍の御儀を終へさせられたが、引續き午後三時から豊島岡御墓所においても御墓所五十日祭の儀を行はせられた

現地民衆に深い感銘
故殿下御高德

【東京發國通】畏くも御身をもつて蒙疆の曠野に神去りました故北白川宮永久王殿下が中北支を始め遠く蒙疆の地にまでも殘させられた御高德は故殿下の御尊き御身と御勳功が前線の一般民衆に知れるやうになつてから現地日支兩國民は今更の如く恐懼し滿高き御遺德を仰ぎ故殿下を追慕申上げてゐる民草と御同様に軍人遺族とならせられた御妃房子内親王殿下、故永久王宮死の地を弔つた武田北白川宮附事務官は廿二日午後三時卅分東京驛着歸京したが同事務官は故殿下の御遺德を偲び同夜謹んで左の如く語つた

現地の良民は殿下とも知らず大大人と申し上げ御仁德に感激してゐたとのことです、殿下には宣撫の急務なることを早くから思召されて支那語に達者な御附きの海田閣を貧民街などに差遣はされ東京の御殿から送られた御菓子などを子供達に分たせられたことも再三であらせられた、また殿下には衛生思想の普及に努められこれで貧民街も段々清潔になつて來ましたがこれも殿下の思召によつてなされたものでした蒙疆の發展をも期して創立された興亞青年學校も殿下の御發意によるものと承りましたが蒙古回教徒の將來は殿下の御德の記念物として輝かしく拓けてをります

現地で遙拜式【張家口廿三日發國通】故北白川宮永久王殿下が蒙疆の地に神去りましてより早くも御五十日、今日廿三日英靈御鎭まりの御靈儀が執り行はせられる蒙疆丘では墓所五十日祭で現地〇〇部隊では午前十一時より部隊中庭において部隊長以下幹部將校參列嚴かなる遙拜式を擧行した、また蒙古政府でも午前十時四十分金井最高顧問以下政府全職員政府前に集合、故殿下御戰死現場に至り同十一時より嚴肅なる遙拜式を擧行した

勅使參向を仰いで
靖國神社例祭執行さる

【東京發國通】晴國神社秋季例大祭は秋色神域に一入深き二十三日畏き邊りより御差遣の勅使參向を仰いで嚴かに執り行はせられた、午前九時勅使清水谷掌典は幣物を奉じて參向、本殿に御祭文を奏し、陸海兩相各代表奉仕し、例大祭の御儀を滯りなく終了した、この朝七時半學習院初等科第二學年御在學の賀陽宮治憲王ほか各若宮様には山梨院長ほか在學者約一千百名とともに中門内に御整列、護國の英靈に拜禮遊ばされた、又一般參列者に代つて各學校、團體などの參列者はひきもきらず秋冷の九段の神域は參拜者の群で終日賑つた

混雜列車の寢臺車廢止

【東京發國通】晴國神社臨時大祭、例大祭參列の遺族、明治神宮體育大會出場選手、敎育勅語渙發五十周年記念式並に紀元二千六百年記念式典參列者で列車は大混雜を呈して居るが、括弧内の日に限り左の主要幹線の寢臺車を取除いて客車と差し替へることになつた
△下關發　午後十時四分發東京行急行（十月廿五日）
△同　午後零時三十二分發東京行急行（十月廿八日）
△東京發　午後八時三十五分發下關行急行（十月卅日）

高くなる"市民の足"
國都のバス値上げ
回數券使用を原則に

國都新京の飛躍的發展に伴ふ輸送力の減少を緩和するため新京交通會社ではかねてからバス料金の改正を企圖、市及び首警當局と具體案を打合せ廿二日交通部大臣の認可を得たのでいよいよ來る十一月十一日から實施することゝなつた

今回の改正料金は從來の一回基本料金を回數券制度としてこれを普通、特殊の二種に分ち回數券に依るものを普通乘車券となし軍人、學生券等のほかやむを得ざる事情によつて回數券を所持せずして乘車した者のみに對して特に發賣する一回券を特殊乘車券とするもので、全滿は勿論日本内地でも最初の試みであるだけにその成果は注目されてゐるが、運賃は大體次の如く二割程度の値上げが斷行されてゐる

普通乘車券　△五十錢券＝四枚綴（一枚十二錢五厘）△一圓券＝八枚綴（一枚十二錢五厘）△二圓券＝二十五枚綴（一枚十二錢）

特殊乘車券　△軍人回數券＝（一圓券）＝十六枚綴△中等學校通學回數券（四圓券（＝百枚綴△初等通學定期券（一ケ月券）＝一圓五十錢△同（半ケ月券）＝七十五錢△官廳公用定期券（六ケ月券）＝六十圓△特殊一回券＝二十錢

即ち普通乘車券は從來の一回十錢に對して大體十二錢餘に官廳公用定期券は從來一ケ月六圓が十圓に値上げされるほか回數券を所持せぬ者は一回二十錢の特殊乘車券を必要とし中等學生一ケ月三圓券が廢止さてゐるが、滿六歳未滿の小兒に對しては從來通り保護者一名に付一名限り無賃とし二名以上は二名毎に一名分の賃金を徴收される、なほ舊切符に對する取扱方は次の通りである

舊回數券　（一）新運賃制度の日より十日間は舊回數券一枚を新回數券一枚として通用す（二）新運賃實施の日より十一日以後は舊回數券の使用を禁止し次の率により交換す、但し交換期間は三十日間として以後は交換せず（三）舊回數券十一枚を以て新通回數券一圓券と交換す、但し端數一枚は九錢として現金にて拂戻す

舊定期券　既に發賣濟みの通學定期券及官廳公用定期券はその有効期間中は通用するものとす

なほ切符は主要停留所に立賣人を派遣して販賣せしめるほか次の各所で販賣する
△交通會社直營所＝大經路營業所、興安操車場、南新京營業所、南關操車場、白菊町待合所、陸軍病院前操車場△市内デパート組合加盟店＝三中井、寶山、ニッケ、金

切符車内賣
廢止に主眼
新體制を說く市當局

バス料金改正にあたつて市公署當局では次の如き當局談をなした

今回のバス料金改正は國都の飛躍的發展による輸送力の激增と車輛及び資材の不足並にガソリンの統制強化に備へて所謂新體制に即應するためである、市としては國都唯一の交通機關たるバス料金の値上げは出來るだけ採用しない方針を堅持して來たのである、が輸送力の減少を補ひ諸物價の騰貴による收支の不均衡を全面的に調整すると共に事業の擴張改善をはかるために斷行したもので市民はこの點を諒として戴きたい、改正運賃制度は十一月十一日から實施されるが、改正の骨子は從來の車内切符賣りを廢止して混雜を防止すると一方停留時間を短縮することで、切符は各主要停留所で係員が販賣するほか本社各營業所、市内各デパート、官消、滿消、市内代賣店、官廳、特殊會社で發賣することゝなつた、特に學生の定期券を廢して回數券制度にしたことは若い者の步行を奬勵するとともにその料金も出來るだけ安價にするためで、これに反して官廳定期券の値上げをはかつたことはその經濟力を考慮したためである、交通會社としてもこれを機として事業の擴張刷新をはかり眞に交通の使命達成に邁進する覺悟である

易に映つた"時局"
小玉さんは斷く宣言

「ベストは廿五日終熄する」と嬉しい太鼓判を捺し自信タップリ國都に乘り込んだ我が易斷の泰斗小玉呑象氏を第一ホテルに訪れ國民の視聽を浴びてゐる日米、日蘇兩國交など當面の重要問題について伺ひを立ると氏は嚴かに筮竹をふり濃顏を綻ばせ乍ら

◇…日米間の問題に關しては水山蹇の卦が出てゐますな、蹇といふのは困難といふ様な意味で賊者が自ら行くことが出來ず容易に動きのとれない形、又大人に見ゆるに利ありで今のところ米國民は指揮者の意見に從ふ外はない、大體大人の意見としては日米間の國交を惡化させることは米國自體として得策でない、日本に對し貿易上非常に挑戰的態度を持してゐるがこれは表面的であつて内面はこの様な意志はなく明春の四月頃には積雪が溶け判然としなかつた道が見える様に日米關係は好轉して來るでせう、來る十一月五日には米大統領の選擧がありこれにルーズベルト、ウイルキーと二人の候補者が居ますがこれについて見てもルーズベルトは花落ちて實を結ぶ象となつて困り從來の民主々義を以つて米々民の名譽を得再び當選するでせう一方ウイルキーの卦は山の巓に行き物がないといふ様な卦が出てゐます、蘭印、佛印案内者を見失ふ從つて蘭印に於ける米國の日本に對しての經濟的策動も一時性のものであつて決して永續しないでせう

◇…日蘇國交問題は恰度雷がなりその後ワッと笑ひ出すといふ様に日本兵を動かす……の象が出て困り……と云へば言あつて……紛爭は避けて行くでせうとの御託宣、ゆめ疑ふことなかれと中々もの凄い鼻息であつた【寫眞は小玉氏】

滿洲で開かん再生の道
歸農對策事務室大繁昌

【東京發國通】發令と統制の嵐に揉まれて轉失業のやむなきに至つた産業群に對しては廿二日の閣議で「國民宿舍所」「國民更生金庫」「國民勤勞訓練所」などを設けて更生への手引きとすることとなつたが、農林省ではこの三施設案決定にそつて今後歸農對策を積極的に擴充、中小工業の轉業者に協力することとなつた同省では既に歸農對策事務室の開設をみ、廿四日には開設一ケ月になるがこの間の轉業對策相談の受付件數は個人團體を合せて二百六十件、手紙によるもの四十件、これを職業別に見ると全米商聯、東米商聯關係者約三萬人、東京新炭同業組合一萬人、甲府米穀商業組合五萬人、淺草新炭同業組合二百人、その他製菓商、魚屋、吳服屋、酒屋、建具商、靴屋など非常な數に上つてをり、これを年齢別に見ると卅歳から四十歳までの六割を筆頭に廿歳から卅歳の二割、四十歳以上一割七分、廿歳以下三分で、相談に來る人達の希望は何れも滿洲開拓地

中には「私は本鄕で親代々米屋をしてゐましたが、この度女房と十日間議論をした結果二人で開拓に出掛けることにしました、是非やつて下さい」といふ熱心なものもあり事務員希望のものは既に滿洲國糧穀會社へ五十名近くも就職現在引續き相談中のもの數萬人に上り歸農の希望者が漸次增加するとみられてゐるので……

濱田町に市制【東京發國通】内務省では來る十一月一日より島根縣那賀郡濱田町とその附近四ケ村を合併濱田市を設置する旨廿二日公示したこれで全國の市數は百六十九となる

五十萬へ汗ダク
國都國勢調査整理

四十五萬、或は五十萬と稱せられてゐる國都新京の總人口が白日のもとに明示される時は愈よ迫つた、市公署臨時國勢調査事務局に集められた膨大なる申告書は目下着々として整理されつゝあるが不時のベスト禍は此處にも影響して長春、敷島の二區は未だ整理出來ない狀態である、然し新開地の長春區は大體に於て前年より約一割五分の增加を示してゐるものと推測され之等を綜合すると總人口は或は市民の豫想外に出るものではないかと見られてゐる【寫眞は申告書の整理】

試驗場は陶醉境
ひらいた"尺八の門"

左の曲目を問ふ「ビハナレ、チレツロ、レーチハチレビー」こんな問題を滔山書きつらねた正面の黒板を睨んで紋附袴のひとかどの人達が異樣な服の講堂にならべられた机前に端座して鉛筆片手に半眼のまゝ机で拍子をとつては考へ込んで居るベスト街の出來事とは思へぬ閑雅な風景、廿三日午後一時から白菊會館で展開されたが、これぞ都山流師範檢定といふ物々しくも異色のある試驗場風景であつた

尺八を吹く人は姿勢が正しくあの嗚々たる音は志操を養ふとは尺八愛好者の禮讚でありさきに吉田晴風師、この度は中尾都山師を迎へて全滿の尺八熱は漸く昂まり都山流だけでも全滿に師範白川餘名、門弟全部で五六萬は越えようといふ盛況である

元來この試驗は皇軍將兵慰問のため全滿各地巡歴中の中尾都山師が國都新京にも立寄り學行の豫定をベスト禍のため遠慮して來る廿六日哈爾濱から直接一路北支へ向ふことになつたゝめ、同行の都山流大連野部曾顧問小池玲山師が代理となつて廿三日來京、同流全國の門弟からの皇軍慰問醵金のうち一千圓を關東軍司令部へ獻金の手續きをとつたのち行はれたもので從つて簡單に尺八試驗とは云へ初傳、中傳、奧傳、秘傳を密傳されたうへでなければ受驗資格がなく、然も宗家來滿の偶々の機會にしか實施されぬ嚴重さから受驗者も僅か廿八人ながら樂歴錚々の上手者ばかり

受驗願書にはこの樂歴が學業、職業と竝んで列記のうへ師匠の密傳證明がついて居て會社の重役あり、軍人あり、鐵道職員もあるが、この世界では社會的地位よりも樂歴だけがものをいふ藝界無時の味を横溢してゐる

中には鶴道六段の腕書をもつ中央警察學校助教授上田春太郎氏のやうに「劍の道は尺八と一脈相通ずるものがある遠い朝鮮、滿洲と多年の警察官生活中この尺八によつて自分は自己の道を築いて來た」と語る熱心家もあり、紋附袴や協和服ながら纏綴に試驗を正した姿もむべなるかなの嚴肅さのうちに一時間半の學科試驗を終れば午後三時から尺八吹奏の實科試驗に移りずらりと居竝んだ小池玲山氏以下檢定委員の前で一心に一管掲つて嗚々たる吹奏は恍惚たる藝術の陶醉境を現出した、なほ受驗者には即座に合格、不合格の判定があつたが、流石は老練者揃ひ大半師範免許を言ひ渡される好成績であつた【寫眞は受驗する上田氏】

粉炭も焚けるストーヴ

從來家庭燃料として難であつた粉炭を……して何とかストーヴに……

物言はぬ勇士
軍馬・軍犬の譽れ
陸軍の行賞を發表

【東京發國通】砲煙彈雨の中を兵とともに進み不幸敵彈に斃れ或は疾病のため異郷の土となつた勇敢な軍馬軍犬の靈を祀る第三回支那事變軍馬祭が廿四日東京を始め全國各地で國民感謝の裡に擧行されるが、陸軍では廿三日鯨動馬犬に對する事變第四回行賞を發表した今回表彰された軍馬の數は二百四頭で中には蒙疆で戰死遊ばされた故陸軍少佐北白川宮永久王殿下の御愛馬「一光秋號」や松井石根大將が南京入城の乘馬「岩澤號」なども入つてゐる

甲功章　軍馬長池號（中村部隊沖西隊）

岡本上等兵騎乘馬として南支作戰に活躍、昭和十四年八月廿二日龍州攻略の際同上等兵が斥候長を命ぜられ部下四名を指揮して敵情搜索中不意に重輕機を有する有力なる敵と遭遇、斥候長以下重傷を負つて落馬敵の重圍に陷つたが、長池號は勇敢にも其處を飛び出し砲火の中を潛つて途中身に三彈をうけ全身紅に染まりつつ部隊に歸還し、無言のうちに斥候長以下の急を報告斥候部隊はそのお蔭で救出された

甲功賞　軍馬岩南號（七田部隊）

本年廿二歳の老齢馬だが、事變中機關銃馱馬として北支澤州、保定の會戰に參加昭和十二年九月十六日瑠璃河河畔の戰鬪で前肢に盲貫銃創をうけ步行不能となつたので某部落に殘されたが岩南號は二日おくれ傷ついた前肢をひきずりながら部隊に追ひついて將兵を感動させ、その後數次の會戰に參加大臣を全うした

甲功賞　軍犬汎號（關東軍吉本部隊志賀隊）

軍犬として軍役に服すること三ケ年、ノモンハン事件には通明犬として活躍、終始部隊間の連絡に使用され蒙漠地帶たる沙漠地帶で狼と格鬪負傷しつゝよく重任を果した

大學受驗要項を發表

出世街道への登龍門として向學青年の憧れの的である國内各大學康德八年度日系學生募集要項は左の如く決定したが新年度からは推薦制度が採用され志望大學、協和會各地區本部に備付けの規程用紙による出身學校長の推薦書を提出これをもつて第一銓衡を行つたのちその通過者のみを以て第二次（學科）考査を實施される點が從來と全く面目を異にし人物考査に重點を置く方法として結果をたのしまれてゐる

△出願手續＝推薦書（用紙は第一志望大學、協和會市、縣、旗本部、協和會省又は首都本部に請求のこと）官公立醫院（滿鐵、赤十字醫院を含む）の醫師作成による身體檢査表（用紙は推薦書と同個所に請求のこと）現職者は特に受驗許可書（勤務先の長に作成依賴のこと）を取揃へ十二月五日までに第一次推薦機關たる當該協和會市、縣、旗本部に提出方を請ふこと

△銓衡方法　一、第一次銓衡＝推薦書類に基き第一次志望大學の銓衡委員會で書類銓衡を行ひ合格候補者を決定し、康德八年一月廿日頃各大學毎に發表するとともに第一志願及び本人に通知する　二、第二次銓衡＝第一次銓衡合格者につき學科試驗、口答試問及び身體檢査を行ふ　三、銓衡期日＝學科試驗（試驗程度は大學教育を受くるに足る程度とする

△新京畜產獸醫大、奉天農業大、新京、哈爾濱、佳木斯各醫大は物理、化學（二月十三日）代數、幾何、動物、植物（二月十四日）

△新京、奉天、哈爾濱各工大は代數、幾何、三角（二月十三日）物理、化學（二月十四日）

△新京法政大は代數、幾何、日滿語（二月十三日）日滿地理、東洋史（日本史を含む）（二月十四日）

△哈爾濱學院は日本語、英語、常識（二月十四日）

△口答試問及び身體檢査＝二月十五、六日午前九時より

△銓衡場所＝第一志望大學

△合格發表＝二月廿日頃各大學同時に發表

奈良平安朝と由緣深い
東京城址究め鳥山博士歸京

日滿文化史に燦然たる光芒を放つ牡丹江省密山縣の渤海國東京城址の恒久的保存對策と鏡泊湖の史蹟調査のため民生部の招聘を受けて約三週間に亘つて現地調査を行つた京城帝大教授鳥山喜一博士は廿三日午後二時着あじあで國都に歸來第一ホテルに投宿したが左の如く語る

渤海國は奈良平安朝時代に朝貢をはかつたこともあり日本に由緣深い國だが、牡丹江省としても東京城一帶は日本との國交のあつた遺跡として保存對策を考慮して戴きたいとの話だつた、學術的な發掘としては昭和八、九年二回に亘つて東大原田博士によつて徹底的調査が行はれて居り、私はその恒久的保存法についてのみ種種研究した、ほ内城の東側に土臺子と稱する建築址があつたが原田博士はこゝで壁畫の斷片を發掘されたことがあり私も一月半をつひやして掘り下げたところ寺蹟を發見したので更にこれを中心に南から北へ、更に西に向つて發掘すると礎佛を發掘した、壁畫の礎佛と比べて極めて美麗で相當面白いものでした、土臺子の西方白廟子附近に高盛る發見したが、こゝからは未だ東京城址で發掘されたことのない金粉の壁畫を發見、臺の位置からしてこゝは寺蹟で本尊は礎佛だといふことを確認した東京城址はこれを公園とし恒久的保存を行ふと共に城址のみにとどまらず附近一帶を調査當時の住民の住址を調査することが必要だと思ふ、牡丹江省でも經費十萬圓を投じて牡丹江省立陳列館をつくり渤海國時代の遺跡を保存することに決定してゐる、鏡泊湖は充分調査する暇がなかつたが、牡丹江の東口に渤海時代の瓦のでる建築址を發見しましたからこの地帶を歷史的遺跡としてでも國立公園化をすゝめたい

△官吏消費組合配給所＝中央、東、平本、寧、奉天、振興合、永昌路、新國官舍、曹州路、第六代用官舍、大馬路
△滿鐵消費組合
△市内代賣店＝寬城子バス終點、南嶺バス終點、高木商店、興亞會、老大合
△各官廳及特殊會社

發明報國
夢でない夢
「名案」の入選きまる

國家を強くする發明者を振興しようと滿洲發明協會では產業振興に寄與する發明題目を廣く日滿に求めてゐたが、時局を反映して詳細な設明を加へたものが五百七十六點の多數應募をみたので鈴木大陸科學院長ら斯界の權威をあつめた發明奬勵委員會により前後三回に亘る審査の結果次の廿題目を入選と決定廿三日發表した、なほ引續き本題目による發明具體化を公募し街の發明家動員を斷行するはずである

糧食袋＝赤松喜太郎（大連）改良深耕犂＝香原義春（吉林省盤石縣）滿洲綠化に對する苦勞篇除機＝寺尾富雄（大連市外小平島）防寒耐久解卵器＝市瀨治（名古屋）燈火用自家發電＝富樫源次郎（三江省樺川縣）ハードグラス＝光野源六（大連）北滿の冬季における果實を化學工業方面に利用する研究＝北川一男（大連）安價奏效維質にて操作簡單な不凍液＝湯野謙六郎（千葉）粘土質道路工事用時殊セメント＝黑崎文吉（新京）蒸氣機關式自動車並に耕作車＝久保田政一（大連）自動車引上裝置＝知念心（新京）道路固形方法＝田畑清（奉天）疊に代るべき敷物＝和田高明（大連）土の硬結材＝井原英牡（丹江市）「通風、美化、常設、使用容易」を補足すべき防空用遮光裝置＝田畑清（奉天）國產牧良防炭ストーブ＝橋本渉善（錦州省北票街）家庭用野菜貯藏法＝橋本渉善（錦州省北票街）簡單浄水裝置＝西村勝夫（哈爾濱）極寒時自動車始動困難防ぐ被體熱束＝湯野謙六郎（千葉）棗の利用加工＝宇佐川金次郎（錦州）

町會解消辭さず
副市長分會活動を尊重

四十萬國都市民が姿なき疫魔ベストと戰つてゐるとき「禍を轉じて福とせよ」と協和會首都本部では分會の最下部組織たる組店動の強化を圖り國民組織強化委員會を結成して隣保組織の強化に乘り出したが協和會分會と竝行して長春草分けの時代から市民生活に根強い力を持つ町會の今後の動向について關屋副市長は次の如く語つた

協和會がその下部組織を擴充強化して市民の生活に喰ひ込んで行つた曉には町會は喜んで發展的解消を行ふ心算だ、協和會分會、町會と二本建に行つてゐる現在の行政組織を一本建にして活潑な活動を開始することは我々も常に考へ望んでゐたところだ、名は協和會であらうが町會であらうがいづれにしても要は國民組織強化にあるのだからこの際協和會が本當に活動を始めることは寧ろ遲まきに過ぎたくらゐである、問題は今後の新體制が如何なる形で現はれて來るかであつて市としても出來るだけこれが實現には協力したいと考へてゐる

首警の異動

九月一日の定期昇進に伴つた首警管下警察官異動はベストに依り延引中のところ十月二十三日附を以て次の如く發令された

警佐　金子善太郎（警務）
警尉　菅原　正夫（順天）
〃　盧　文　舞（特務）
命中央通署勤務
警尉補須田　昇（保安）
警佐　森武　男（地警）
命中央通署勤務（各通）
警尉補高橋　富雄（長通路）
警尉　赤池　勇武（寬城子）
命警務科勤務（各通）
警佐　金坂　三郎（警務）
命新京地方警察學校教官
警尉　伊藤　丈一（中央通）
命新京地方警察學校助教
警佐　中谷　正夫（長通路）
警尉補　土屋　基（警務）
命寬城子署勤務（各通）
警尉　鄒　乃　績（和順）
警佐　倚　毅　憲（四道街）
警尉　常世田武雄（外事）
〃　出浦　金次（四道街）
〃　本田　照夫（〃）
〃　楊木　泉（寬城子）
警尉補佐々木利兒（特務）
命長通路署勤務（名通）
警尉　樽葉　武（寬城子）
〃　野中　正一（和順）
警尉補大畑　燮治（中央通）
命順天署勤務（各通）
警佐　山住佳山（警督所卒）
警尉　井上徳太郎（中央通）
〃　小佐井芳人（警務）
〃　伴野　利一（地警）
命四道街署勤務（各通）
警佐　盧　文　廷（順天）
警尉　金井　正二（四道街）
命和順署勤務（各通）
警尉　志賀　正志（順天）
命保安科勤務

姑娘部隊東上

【神戸發國通】上海で中國婦女協進會長、日本語學校長として宣撫工作に活躍する海軍囑託楊馨齋こと山岸たか子女史（三三）に引率された可愛い姑娘部隊閨秀畫（二六）等一行九名が揃ひの支那服も美しく廿三日午後三時神戸入港の大洋丸で來朝、同夜九時神戸驛發東上した

堀さんがといへばあゝあの君かと云はれるほど……石炭の堀……

家庭

砂糖の利用 悪い魚に中毒したときの應急手當として、黒砂糖を一と口頰張ると效果があります▼果物の汁を着物につけてしみをこしらへた時は砂糖をなすりつけてさつさと水で洗へばしみを殘さず綺麗になります▼赤ちやんがシヤツクで困るときは砂糖水を飲ませると直ぐ癒ります

ワサビ ワサビをおろすときは葉のついた方からおろし、それを庖丁の背でトントンと叩きますと一層効き目が强くなります

お灸

合理的に行へば……種々な病氣に効く
賴り過ぎや素人療法は危險

お灸は東洋固有の療法で二千年の古い歴史と傳統を持つ溫熱療法、刺戟療法、或は蛋白體療法として、これを醫學的に見ても高級で尖端的な治療法といふことが出來ます、つまり溫熱刺戟による物理療法で身體の神經を

×……溫……× 度によつて刺戟し、その刺戟はその個所から次第にその神經の關聯してゐる個所に傳へて或る種の興奮作用を起させて病氣を治すわけです、人體はその何處か一ケ所に異狀を來すと全身にまで變調を來すもので、例へば肺結核の人は肝臟が惡くなつて來たり、胃腸の働きが鈍つて來たりするのが普通です、それでこれを治療するのには一ケ所だけを考へてやつても駄目で全身の調整を計つて合理的な治療法を行はなくてはなりません、今の

×……例……× で申しますと肺だけでなく肝臟や胃腸の働きをよくすることを考へるのですつまり全身を綜合的に見ることが必要です、お灸は刺戟點を選んで溫熱刺戟を與へるのですが、刺戟の分量（モグサの火數）によつて內臟その他に及ぼす刺戟が異つて來るわけです、つまり病氣を全體病理學の立場から觀察して治療するのですが、この點が西洋醫學と違ふところで原、靑地時枝他數名のお灸博士の研究發表によつて見ましても

×……此……× の綜合的治療法を過らなかつたならばお灸のもつ效果の偉大と神秘作用は廣汎圍の疾病に應用して卓效のあるものとされてをりますそれでお灸は「つぼ」又は「點」といはれる灸穴さへ知つておれば自分で勝手に行へるものといふ考へは冒險で、場合によつては他の醫療が主體となりお灸が補助的の役目をつとめることがあり、又お灸を主として他の醫療を從とする場合も起きて來ることがあります、健康體の者でも朝、晝、晩と

×……體……× 溫に高低があるやうに、お灸にも又施灸時刻やモグサの大小等その反應程度に差異があり、この反應の如何が直接治療の結果に關係を及ぼすことは宛も藥の匙加減と同じですから必ず專門家の指導監督を受ける事が肝要です、普通お灸を避けねばならぬ場合は高熱のあるとき、衰弱の甚だしいときで、肺結核等高熱の出た場合は危險とされてをります、お灸療法が

×……特……× 效のある病氣は胃腸病、初期の結核、動脈硬化症、高血壓症、婦人病、蓄膿症、膀胱カタル、寢小便、神經痛、リヨウマチ等です

★不屆者！ 網に對するマスクを使用することなに（か）をつてるのにまだアゴにかけてマスクをパコペて吹つたりしてるのも不（心）得者、行（儀）する事なんこは諸（賢）……（晃）

染料の鑑別が大切
色ものの洗濯
酸性染料は糠で色留

お洗濯をする時には、色物や模様ものでしたらその布がどんな染料で染めてあるかを知つてからしませんと、とんだ失敗を招くことがあります、それには先づ洗濯しようと思ふ布の一片を水に入れ火にかけて煮ますと色がとけ出しますから、その色の出た水をガラスのコップに入れ濃いお茶を少し入れ

お茶 で色が變れば鹽基性染料、變らなければ酸性染料で染めてあるのですからもし其布が鹽基性染料で染めてあつた場合は、アンモニアやアルコールを使ふと色がさめますので絕對に避けねばなりません、又次のやうに

色別 の取扱方を知つておくと、大變たすかります

◇……白系統　淡紅色、水色、鼠色、黃色、純白

◇……赤系統　えんじ色、海老茶色、薔薇色、赤

◇……黑系統　靑色、紫色、鼠色、紺黑

このうち純白のものは特に注意して石鹼を選ぶこと、次に充分水すゝぎをすること、一度洗つて洗ひ水があまり汚れたらもう一度新しい石鹼水と取り換へて入念に洗ふやうにします、特に水すゝぎはすつかり水の澄むまで行ひ最後に酢酸リスリンの混合溶液にひたし

充分 水を切るのですが、ものによつては大型タオルに卷いて足で踏み、水を切つてから風通しのよい所で陰干にするのです、又何度も洗濯して黃ばんだものは漂白しないととれません、赤系統のものは石鹼水に浸すと褪色しますから最初に色留めを致しますそれはタンニン酸か濃厚なお茶の汁でするので、洗ふ前に

色留 めを、洗ひ終つてからもう一度茶汁を通すと色が冴えて來ます、黑系統のものは水につけて色の出る場合は酢酸で色留をいたします、色が强いものでも油斷せず洗濯水の中に糠を入れて洗ふと色が褪せないで綺麗に洗へ、しかも冴えて來ます、糠量は二升の水に一つかみ位でよろしく、すべて酸性染料を用ひた色ものの洗濯には糠を入れるやうにすれば效果があります

★★落葉を踏む★★

婦人隨想
或る日の街頭風景

パーマの毛を肩迄垂らし黑のトーク帽を粹に冠つて濃鼠地に赤のチエツクのラグラン仕立のオーバ……一人は靑いリボンを止めた斷髮に赤いスカーフを覗かせた鼠のスワガー、二人共十九？廿？　中等敎育は確かに受けたであらう理智的な顏、何か嬉しさうに瞳を輝かして語りながら吉野町から曲つてダイヤ街へ足を向けた、時は十月十七日午前十時半、狹い步道は馬車と洋車と人の波で溢れさう

「一寸何かあるらしいわね」又ベスヽかしら、嫌ンなつちやふわねえ」

「本當よ、シネマはないしつまんないのね」

二人のお孃さんは人波の後からついて步いてゐたが十步と行かない中に前に固つてゐた人と車の波は散つてパツと目前が展けた、と思ふと眞白い服を着た角帽の學生が片手に注射器をもつて彼女等の視野をふさいだ

「もしもし、豫防注射をしましたか、證明書を見せて下さい」

「私、こないだしたのだけれど、こゝに證明書もつてないわ」

「赤いハンドバツクがゆれる

「何時しましたか？　何回ですか」

「さあ、何時だつたかしら一回だけよ」

「それぢや今一度致しませう、一回では無効です」

「痛いわねえ、私達ペストなんかに絕對罹りやしないのに……」

學生は次々と來る人達に同じことを聞き注射藥を少しづつ減らしてゐる、その間に彼女達はそつと通り拔けやうとした、途端

「もしもし、一寸こつちへ入つて腕を出して下さい」

と强引に他の腕役の學生に或る店頭へ追込まれて遂にアクリ……無智なる滿人ですら、自ら腕をまくり、注射針に顏をしかめつゝも必死の防疫班に感謝の眼差しを投げかけてゐるものを……彼女達はダイヤ街の某喫茶店へ腕をさすりさすり不平たらたら姿を消した、こんな女性はあの世に消えてなくなれ

【鬼あざみ】

遠視と矯正眼鏡
育兒

家庭で注意しなければならないのは子供が遠視眼から起る眼性疲勞症になりますと、讀書のときは飽きつぽくなり、集中力を缺き、思考力がなくなり、記憶力も減り、或は少しも落着きがなくなつてぼんやりするやうになります、そしてまた怒り易く、泣き虫になり亂暴なことを働いたりするものですから、家人は往々これをわがまゝのさせる結果ぐらゐに思つて放つておくことがよくありますが、この症狀を增進させる場合があります、これなどは全く子供の體に注意を拂はれぬ結果から起るのです、ですから子供が若し以上のやうな遠視の症狀を起した時には一日も早く專門家の檢眼を求めねばなりません、遠視は近視や老視と違ひまして子供時代に矯正眼鏡を用ひさせておきますと中年頃まではその度が進まないものです

切花の長保ち法

薔薇やその他溫室咲きの切花を瓶に生ける時、水の中に入る部分の葉もはさみで切り去りなるべく葉を少くしておきますと、普通よりずつと長保ちがいたします、又活けておいた花が途中で元氣がなくなりましたら切口をもう一度切つて新しくすると水揚げがよくなつて生々としてまゐります

一日に食べる魚の榮養分

副食物としての魚は一日どれだけ食べれば榮養が充分かと言ひますと

生鰯	三尾	三十五匁
燻刺	四尾	二十七匁
生鮭	一切	二十匁
鹽鰊	一尾	三十五匁
身缺鰊	三本	十三匁
乾鱈	一切	十七匁
鯖鰯	五人で一尾	二十九匁

獻立
ふろふき大根

秋刀魚	一尾	二十七匁
鰤	一切	二十四匁
鯨肉	一切	二十七匁

大根を一寸五分位の厚さに切つて煮出汁でやわらかく煮ます（煮出汁は一合の水に小指大の煮干二尾くらゐの割とします）別に一合位の煮出汁を作つておき、これに味噌二十匁、黑砂糖、シロップ大匙四杯を入れ、とろ火にかけてどろどろになるまで煮上げ、柚子を卸したものか生姜汁を適宜に入れて風味をつけこのかけ味噌を大根の上にかけて食べるのです、味噌に胡麻を入れると風味が增し、大根を煮る場合にも黑砂糖と鹽で色をつけるやうにしてもよろしいのです

ゆずを搾つてソバカス治療
使ふ度びにこしらへる

ゆずの汁は昔からソバカスの治すのに效果があるといはれてゐますが、これは專門家も認めてゐられることですからソバカスにお困りの方はおためし下さい、その方法はよく熟したゆずの皮をむき、實をそのまゝ白い布袋に入れてよく押しつぶし、手でよく揉んで充分果汁をしぼります、このしぼつた汁をもう一度目の細かい白布で漉してから、水道の水か蒸溜水で適宜にうすめて用ひるのです、このまゝでは長く保存することが出來ませんから、お顏につける度びに少量づゝ作つて下さい

ラヂオ

あさ

七、〇〇（新京）建國體操、大陸體操
七、一八（大連）入港船のお知らせ
七、二〇（新京）ニュース
七、三〇（新京）兒童講話・滿洲に於ける日滿先覺者の思想「三崎山をめぐる金州六烈士を偲ぶ」（一）
七、五〇（大連）中學滿洲語講座　建國大學敎授　岩間　德也
八、二〇（新京）氣象通報
八、二五（新京）朝の音樂（レコード）
一、ソプラノ獨唱
（一）子守唄作品四九ノ四（ブラームス作曲）シューマン「二、チリビリビン（ペスタロツツア作曲）ポーリ
（二）テノール獨唱「歌劇マノン・レスコーより「麗はしき乙女」（プッチーニ作曲）ツイリアーニ
（三）管絃樂　喜歌劇「蝙蝠」序曲　作品五六（J・シュトラウス作曲）パリ音樂院管絃樂團（指揮）ワルター
八、四五（東京）建國體操
九、〇五（新京）經濟市況
九、三〇（東、奉）經濟市況

ひる

九、五〇（新京）幼兒の時間「ウタノオケイコ」吉田　牧江
一〇、〇五（大連）家庭メモ
一〇、一〇（大連）料理獻立
一〇、二〇（大連）家庭の時間「食事の榮養」柴田タカ
一〇、四〇（新京）食料品値段
一一、三五（奉天）經濟市況
一二、四〇（東京）經濟市況
一二、五九（東京）時報
〇、〇一（奉天）經濟市況
〇、〇五（東京）ラヂオコメディ（讀物出演者未定）
〇、三〇（東、新）ニュース
一、〇五（東京）經濟市況
一、三〇（新京）政府の時間
一、五〇（奉天）經濟市況
二、五五（新京）氣象通報
三、〇〇（東京）婦人の時間「南方アジア民族の風習「佛領印度支那の話」」

よる

三、二〇（東京）經濟市況
四、〇〇（東、新）ニュース
四、三〇（奉天）經濟市況
五、三〇（新京）レコード＝ベートーヴエン特輯　第三回＝交響曲第三番英雄ホ長調作品五五（前半）ウイーン・フイルハーモニツク管絃樂團（指揮）ワイガルト
六、〇〇（東京）子供の時間　こども座談會「軍馬になるまで」小津茂郎、他
六、二〇（東京）コドモの新聞
六、二五（哈爾濱）初等ロシア語講座　櫻木　新吉
六、五〇（新京）國民メモ
六、五五（新京）カレントピツクス
七、〇〇（東、新）ニュース　告知事項、今晚の番組
七、三〇（新京）國民の時間　馬政局技正　上原　猛雄
七、四〇（東京・連續小說「馬」上（山本嘉次郎作龍演出）藤原鶏太、竹久千恵子、高峰秀子他（解說）坂田アナウンサー（伴奏）東京放送管絃樂團（作曲兼指揮）伊藤昇
八、一〇（新京）ヴアイオリンとピアノ二重奏　奏鳴曲イ調作品十二の二（ベートーヴエン作曲）（ヴアイオリン）吉田　敏夫（ピアノ）蒸尾佐一郎
八、三〇（東京）ラヂオ時局讀本（七）
八、四〇（新京）講演「石炭燃料の諸問題」石田　武司
九、〇五（東京）長唄「秋の色種」（唄）杵屋六左衞門（三味線）杵屋勝太郎、他
九、三〇（大阪）ラヂオスケツチ「ご辛抱のし通し」繁華街花屋の店」森光子、他
九、三九（東京）時報、ニユース、ニユース解說、氣象通報告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニユース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

婦人と子供の時間

（前九・五〇）幼兒の時間、ウタノオケイコ（一〇・〇五）家庭メモ（一〇・一〇）料理獻立（一〇・二〇）家庭の時間「食事の榮養」（一〇・四〇）食料品値段（後三・〇〇）婦人の時間、南方アジア民族の風習「佛領印度支那の話」（六・〇〇）子供時間、座談會「軍馬になるまで」（六・二〇）コドモの新聞

列車時刻

【發】

方面	列車		時刻
▼奉天方面行▲	大連行	急	三・三〇
	奉天行	急	六・三五
	釜山行（ひかり）		七・四〇
	奉天行		八・四五
	大連行	急	九・三〇
	營口行		一〇・三〇
	四平街行		一一・二五
	奉天行		一三・〇五
	大連行（あじあ）		一四・〇〇
	大連行		一四・一〇
	四平街行		一五・三五
	大連行		一六・五九
	釜山行（のぞみ）		一七・一〇
	北京行		一八・四五
	四平街行		一九・四〇
	大連行		二二・四〇
	大連行	急	二二・四五
	大石橋行		二三・三〇
	奉天行		二三・五五
▼哈爾濱方面行▲	哈爾濱行	急	四・〇八
	德惠行		五・一五
	哈爾濱行		六・二三
	哈爾濱行	急	八・〇五
	哈爾濱行		九・二五
	哈爾濱行		一三・〇〇
	哈爾濱行		一五・〇二
	哈爾濱行（あじあ）		一八・〇五
	德惠行		一九・三〇
	哈爾濱行		二三・〇〇
	牡丹江行		二三・五〇
▼圖們方面行▲	吉林行		六・五五
	圖們行（あさひ）		八・〇〇
	吉林行		九・〇〇
	吉林行		一三・一五
	圖們行		一五・二五
	吉林行		一九・一〇
	羅津行		二三・二五
▼白城子方面行▲	白城子行		七・一五
	前郭旗行		一七・一〇
	白城子行		二二・〇〇

【着】

方面	列車		時刻
▼大連方面より▲	大連發	急	三・五八
	奉天發		六・三三
	大連發		七・三七
	大連發	急	七・〇〇
	大石橋發		八・四六
	四平街發		九・四九
	四平街發		一〇・四〇
	北京發		一一・五〇
	奉天發		一二・四五
	釜山發（のぞみ）		一三・五〇
	大連發		一四・五二
	大連發		一六・四〇
	大連發（あじあ）		一六・五〇
	營口發		一七・五〇
	大連發（はと）		一九・二五
	奉天發		二〇・一五
	大連發		二〇・四八
	四平街發		二一・五三
	釜山發（ひかり）		二二・一六
	奉天發		二三・二九
▼哈爾濱方面より▲	德惠發		〇・三五
	哈爾濱發		三・一八
	德惠發		六・一八
	牡丹江發		七・三〇
	哈爾濱發		一〇・五七
	德惠發		一二・五七
	哈爾濱發（あじあ）		一四・〇〇
	哈爾濱發		一六・〇〇
	哈爾濱發	急	二〇・五一
	哈爾濱發		二二・三〇
	哈爾濱發		二三・三〇
	哈爾濱發		二三・四五
▼圖們方面より▲	羅津發		八・四二
	吉林發		一一・〇四
	吉林發		一四・二二
	圖們發		一六・三六
	吉林發		一〇・五〇
	羅津發（あさひ）		二三・四五
	吉林發		二三・四一
▼白城子方面より▲	白城子發		九・一七
	前郭旗發		一三・二〇
	白城子發		一九・〇五

出帆入港

大阪商船出帆

うすりい丸　十月廿四日
さんとす丸　十月廿六日
熱河丸　十月廿七日
扶桑丸　十一月二日
らぷらた丸　十一月三日

門司、神戸行（午前十一時大連出帆）
二角　鹿兒島那覇行　午後三時大連發
事務所＝大連、奉天、新京、哈爾濱、驛とビユーローで連絡切符發賣

日本郵船株式會社　大連、長崎、鹿兒島航路

大連行　湊路丸　十月廿日　大連着廿四日
鹿兒島發　長崎發　十一月廿一日　廿五日
鹿兒島行　湊路丸　十一月二日　鹿兒島着
大連發　長崎發　十月廿六日　廿九日　卅日